れんごう中越地協

第765号2012.10.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人　矢島　良彦
定　価　１部１０円
購読料は会費に含む

連合中越ＳＪネット委員会
勤労者スポーツ交流会
チーム対抗ボウリング・ハイタッチで団結深める

連合中越ＳＪネット（青年・女性）委員会が主催する「勤労者スポーツ交流会」が９月28日18時30分より、ドリームボウル長岡にて開催された。各産別・単組から44名が参加し、ボウリングを通して交流した。

小林副委員長より開会挨拶、ルール説明の後、５分間練習をしたのち産別単組に関係なく、３・４名に分かれ計13チームでチーム対抗戦としゲームを楽しんだ。

ルールは女性ハンデとして30点加算した時点からスタート。２ゲーム行い、総合点が多いチームが優勝。ＳＪネット委員会では過去、何度かスポーツ交流会でボウリングを行ったことがあるが、「チーム戦」で開催するのは今回が初めて。

ピンが倒れるとチーム内ではハイタッチするなど、団結し、また日頃の仕事の疲れを癒した。

ゲームは20時30頃に終了、上位チームの表彰式を行い須貝委員長の挨拶で閉会となった。

柿川に親しむ会
第16回柿川周辺清掃と歴史探訪の集い
４コースの史跡を巡り、防災講演受ける

10月6日（土）、午前9時より「第16回柿川周辺清掃と歴史探訪の集い」が開催された。当日は子どもを含めた78名が参加した。

南町公園に集合し、ＳＪネット三上事務局次長が司会を務めた。佐々木実行委員長挨拶のあと、参加者は戦災資料館を回るコースを含めた４コースの紹介を受け、参加者たちは希望するコースに分かれ出発した。参加者たちは柿川周辺の清掃活動を行いつつ、各コースに1名ずつ郷土史研究会のガイドが付き歴史の説明を受けた。

全コースとも午前11時には集結場所の平和の森公園に到着した。ゴミは合わせて４袋程度となった。空き缶が多く見られた。

講演会ではＦＭながおかと脇屋雄介社長より、「ＦＭながおかと防災計画―命を守る防災ラジオ―」と題し、お話いただいた。

中越大震災における報道体制と内容において画期的な評価をいただいた成果は脇屋社長が開発した防災ラジオによる伝達方式であり、東日本大震災の地域はもとより全国から引き合いが殺到している。実際の体験を交えて、東日本大震災での支援を講演いただいた。

講演終了後は、トン汁・おにぎりを食べ解散となった。

東蔵王２ ≪No.92≫

副議長
横澤　勝之

「キグチコヘイハ　テキノ　タマニ／アタリマシタガ、シンデモ　ラッパヲ／クチカラ　ハナシマセンデシタ」これは戦前の尋常小学校の修身の教科書に載っていたものだが、このことを連想せずにはいられなかった▼毎日新聞によると、自民党の総裁選挙で新総裁となった安倍晋三氏は「選挙の最終日の街頭演説で、津波で流される寸前まで住民に避難を呼びかけ続けた宮城県南三陸町の女性職員をたたえた。『国民の誰かが命をかけなければ、（日本を）守ることができないということを身をもって示してくれた』拍手がわき起こった。日の丸の小旗を打ち振る人もいた」とのことである▼確かにこの女性の行動は賞賛に値する行為（使用者責任等の問題も多いが）ではあるが、彼女が命をかけて守ろうとしたのは、住民、市民であって決して国家ではないと思う。このことを国家や会社などに対する忠誠・責務として権力者が持ち出すのは非常に危険なことである。さらにいえば、体調不良を理由に政権を投げ出した人には言われたくない▼もう一つ連想したのが戦争中「君たちだけを行かせない。自分も必ず後から行くから」と言って特攻隊員を送り出しておいて逃げ延びた多くの軍司令官のことだ。ひょっとすると「国民の誰か」とは「自分と自分の家族ではない誰か」のことなのだろうか。

サラリーマン川柳（男前　おだてられれば　ゴミも出す）（馬肥ゆる…　内の女房に　季節なし）（ビール腹？　いーやパパのは　発泡腹）（しっかりと　化粧確かめ　露天風呂）

サラリーマン川柳（上役の 陰口一つで 連帯感）（遅くなる 電話の向こうで 声はずむ）（親ばなれ 子ばなれ次は 妻はなれ）（これたのむ「急がないよ」は すぐかかれ）

いのち 支える　平成24年度 新潟県地域自殺対策緊急強化民間団体事業

生き心地のよい 地域社会をめざしてｉｎ見附

参加無料

講演会＆シンポジウム

昨年の東日本大震災以降「絆」や「つながり」といった、日本人には少し前まであたりまえだった言葉が今あらためて強調されています。日本の自殺者数は１４年連続で３万人を超えており、この新潟県でも自殺率は決して低くありません。住みやすく暮らしやすい、誰もが気持ちよく感じ夢を持って生活できる地域社会をめざすにはどうすればよいのか。実態に迫ります。

＊清水康之氏講演後、「地域の現状と課題」をテーマにシンポジウムを開催します

平成24年１１月１８日(日)

１３:００～１６:００

(開場/受付開始１２：３０)

★第１部：講 演 会　13：00～14：30

★第２部：シンポジウム14：45～16：00

見附市保健福祉センター

(見附市学校町2-13-30)

講師：清水 康之 氏

NPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」 代表
自殺対策全国民間ネットワーク 代表
BS11「InsideOUT（無料放送）」キャスター（第一、第三「火曜日」担当）
内閣府「自殺対策推進会議」委員
東京都「自殺総合対策東京会議」委員

★清水 康之 プロフィール

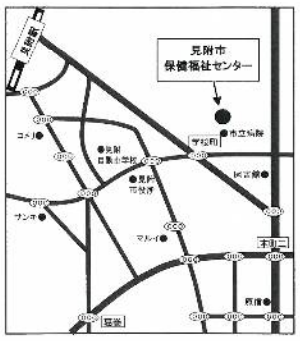
元ＮＨＫ報道ディレクター。自死遺児たちの取材をきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004年にＮＨＫを退職し、ライフリンクを設立。10万人署名運動等を通して2006年の「自殺対策基本法」成立に大きく貢献する。自殺対策の「つなぎ役」として日々全国を奔走中。鳩山・菅政権においては、内閣府参与（自殺対策担当）を務めた。

主催／一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
（生き心地のよい地域社会をめざしてin見附実行委員会）

共催／見附市

後援／新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部、新潟県精神保健福祉協会中越支部

実行委員会構成団体／見附市、見附市社会福祉協議会、見附市自立支援協議会、見附市民生委員・児童委員連絡協議会、見附商工会、見附ニット工業協同組合、見附織物工業協同組合、見附青年会議所、長岡地区労働者福祉協議会、連合中越地域協議会、連合中越見附地区支部、長岡パーソナルサポートセンター、ながおかライフサポートセンター、ながおかライフサポートセンター見附事務所、NPO法人 生き生き企画、日本海聖高校・ボランティア「フレンドスペース」、みのわの里工房みつけ、みんなの実家 グリーン・ホームふたば、みつけ元気助け合いの会、社会福祉法人 栃尾福祉会 みつけワークス、NPO法人 みつけっと、実生の会、新潟県青年司法書士協議会



●お問合せ／生き心地のよい地域社会をめざしてin見附実行委員会事務局
（ながおかライフサポートセンター）☎０２５８－２４－０５３５

連合小千谷支部だより

今回は先日、１０月６日(土)に開催致しました小千谷支部と労福協合同主催の「クリーン活動とライフプランセミナー」について報告いたします。

当日は１００名近くの参加があり小千谷市、山本山「市民の家」へ午前１０時に集合し山頂方面と貯水池方面の２カ所に別れクリーン作戦を行いました。その後、市民の家へ戻り、労働金庫小千谷支店の池田支店長様より老後に向けてのライフプランについて１時間程、講義を頂きました。

その後は皆で、お弁当とトン汁の昼食を食べた後に豪華景品の当たる？好例のビンゴ大会を行い有意義な１日となりました。今後もこの様なイベントを開催して行きますので多数の方の参加をお待ちしております。

アルビレックス新潟試合観戦 無料招待

J.LEAGUE　DIVISION1第 32 節

11月17日（土）午後 2 時　試合開始

アルビレックス新潟　VS　川崎フロンターレ

会場　東北電力ビッグスワンスタジアム

申込み〆切　１１月１日　（チケット無くなり次第終了）

≪お申込み方法≫

下記欄に全項記載して連合中越≪fax 0258－24－8930≫へ申込む

≪チケット受渡方法≫

★郵送希望者　ＦＡＸ後、１週間以内に連合中越宛てへ80円分の切手を貼った返信用封筒を同封し送付ください。
到着次第、チケットを入れ返信します。

※尚、希望枚数18以上の方は返信用封筒には90円分の切手を貼ってください

★受取希望者　平日9：00～17：30までの間に地協事務局へお越しください。

※尚、来られる際は事前にお電話にてご連絡ください（TEL 0258－24－0515）

≪その他≫

・チケットは先着順。チケットが無くなった場合**のみ**ご連絡いたします

・申込みは組合単位・個人単位でも構いません

連合中越地協事務局
（平日のみ受付）
Fax 0258－24－8930

申込み方法に沿って、ご注文ください。郵送希望者は申込み後、連合中越宛てに返信用封筒（返信先記入の上）を送付ください。

※チケットが無くなった際には

【申込書】

・組合名　　・申込担当者名

・連絡先住所　〒

・連絡先電話　　・連絡先fax

・チケット希望枚数　　枚（30枚まで可）

・渡し方(何れかに○囲み)　　郵送希望　・　事務局に取りに来る